

令和元年度熊本地方・家庭裁判所

インターンシップ

(裁判所書記官・裁判所事務官)

実施結果報告



令和元年9月25日にインターンシップを開催し、19名の皆さんに参加していただきました。

インターンシップの様子や皆さんの感想をプログラムに沿ってご紹介します。

1 導入説明

オリエンテーション

裁判所の概要説明



刑事訴訟手続の概要を説明している様子



▲ 裁判所の組織や概要を説明している様子

2 刑事事件に関する業務体験

①刑事訴訟手続の概要説明

②模擬公判

③調書作成体験



模擬公判の進め方、配布資料等について説明している様子



場面が変わることごとに今どのような手続をしているのかを説明しながら模擬公判を進めていきました。参加者は配布資料を確認しながら真剣に取り組んでいました。



参加者の中から書記官役を決め、公判中の動き(裁判官とのやりとり等)も体験してもらいました。



業務体験終了後は、裁判官席で法服を着て記念撮影をしました。参加者からの質問も多く、充実したものとなりました。

参加者の感想

- ・職員の説明が丁寧で分かりやすかった。
- ・実際の法廷で体験できたのが良かった。
- ・調書作成の体験で書記官の仕事内容への理解が深まった。
- ・裁判官から書記官の仕事の重要性を聞けてやりがいのある仕事だと実感できた。

3 家事事件に関する業務体験

- ①家事調停手続の概要説明
- ②模擬調停の見学
- ③調書作成体験



書記官が適宜、アドバイスをしながら、業務体験を進めていきました。



模擬調停の成立場面の流れを見てもらい調停調書の作成を体験してもらいました。



家事調停手続の概要を説明している様子



▲書記官になったつもりで調停事件の申立書の審査や調書作成を真剣に取り組んでいました。

参加者の感想

- ・家事書記官の仕事のイメージができて貴重な体験だった。
- ・自分がイメージしている事務と違い印象的だった。
- ・刑事と家事で書記官の業務がずいぶん違うことを実感し、幅広く業務をこなす能力が必要だと感じた。

4 座談会

参加者を3グループに分けて、職員3名が各グループを回っていく形式で質疑応答を行いました。



◀ 職場の雰囲気や各職員の体験談も交えながら進めていき、参加者からもたくさん質問が出てどのグループも盛り上がりました。座談会後も、残って個別に質問をされている方もいました。

参加者の感想

- ・自分の持っていた疑問をたくさん質問できてよかったです。
- ・実際に職員と接してみて職場の雰囲気を実感できた。
- ・働きやすい職場だと感じた。
- ・裁判手続きの信頼を担保するという裁判所書記官の仕事に魅力を感じた。
- ・一見裏方に見えながらも裁判手続きの中で大きな役割を担っている点に興味を引かれた。
- ・調書の作成だけでなく、様々な手続きに関するマネジメントや当事者への説明など重要な役割があることを学べた。